

令和7年度 学校評価書(共通) 前期

校名 宇和島市立鶴島小学校

1 自己評価書

教育目標						当たり前のことを当たり前に行う児童の育成						
基本方針						スピード感のある「行動 → 思考 → 修正」を当たり前						
本年度重点目標						1 確かな学力を育てる教育の推進 2 豊かな心を育む教育の推進 3 健やかな体を育む教育の推進						
評価項目		評価小項目		評価の観点		評価資料		評価		評価		
確かな学力の定着と向上	①	全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析結果を基に、「身に付けさせたい力(学習の目標)」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成 ・具体的な対策の実施	B B	後期のみ						
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業モデル「N見方・考え方を変える」を視点に授業改善に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B						
			ねらいを明確にした分かる授業を行った。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B B	B						
			一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク等)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B C B	B						
	③	家庭学習の充実	家庭との協働により、授業と連動させた家庭学習の充実に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B C B	B						
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C C B	C						
	⑤	ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする児童生徒の育成に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート	B C	B						
				・児童生徒アンケート	B							
	(成果と課題)											
	○ ICTの活用によって一人一人の学習状況を把握することができた。2学期以降も効果的なICTの使用に努めていきたい。 ○ 公民館と連携して行った学習は、時数的には負担になるが、宇和島に愛着を持つには良い機会だと感じた。 ● 進んで考えたいと思う発問や活動の工夫をして、児童の気付きにつなげていきたい。 ● 自主学習は、どこまでを子供たちに求めるかを校内で検討する必要がある。 ● 読書について子供たちに声掛けすることがなかなかできなかった。また、自主的に図書室に行く児童が少なかった。 ● 「とことん読書デー」を、宿題なしデーと勘違いしているような発言が見られることが気になる。											
(改善策等)												
自主学習について、校内研修で協議し、保護者にも周知できないかを検討する。 読書活動に関しては、学校全体で多読書の発表をしたり、朝読書で読み聞かせや本の紹介をして、本への興味が高まるように努めたりしていく。 「とことん読書デー」をうまく活用して、読んだ本を確認したり、朝のスピーチで本の紹介をしたりしていきたい。												
評価項目		評価小項目		評価の観点		評価資料		評価		評価		
生徒指導の充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	C B B	B						
	②	児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B						
			不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B						
			いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速且つ適切な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B						
	③	関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・児童生徒アンケート	B B B	B						
	④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にを行った(自分にはいいところがある)。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B B	B						
			自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート ・児童生徒アンケート	B B							
	(成果と課題)											
	○ 男女でコミュニケーションを取る機会が増えた。 ○ 授業中に集中できる時間が増えてきた。また、休み時間の児童間の無駄な接触が少しずつ減っている。 ○ いじめ見落とし0を目指しており、ちょっとしたことで生徒指導に報告があるのでありがたい。今後も全教職員でいじめ見落とし0を目指したい。 ● 言葉遣い、何かしてもらったときの「ありがとう」の言葉、シューズを履く、名札を付けるなどの小さなことができていない児童が多い。 ● 自律できる集団になるよう、日々見取っていかねばならない。 ● 悪い方向に流される児童、見て見ぬふりをする児童も多く、仲間意識・集団意識、どちらも低い傾向にある。											
(改善策等)												
全員が「鶴島小のきまり」を再確認し、全教職員が毅然とした対応を取り、指導を徹底して行う。 問題が起こった時には、自分たちで考えて問題解決につなげていくようにする。												

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指し、校内で設定した業務改善施策を基に、組織的な働き方改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	C B	C
	②	働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	C	C
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B
	③	他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	B	B
	(成果と課題) ○ 職員会議のペーパーレス化や、職員室前面黒板の記入省略、メール連絡等で一部の業務改善が進んでいる。 ○ スクールサポートスタッフや学校補助員に印刷等をしてもらったり、地域コーディネーターに校外学習の交渉や連絡をしてもらったりすることで、業務改善につながった。 ● 連絡事項の確認が徹底されていないことがあり、統一して動けないことがあった。 ● 仕事に集中し、翌日の授業に余裕を持って取り組めるように働き方を工夫する。 ● 課外活動は、更衣を含めて特定の教員に負担が掛からないように分担、協力する必要がある。					
(改善策等) 校時表について検討すれば、少しでも放課後に余裕が生まれる。 職員会議等がいつも勤務時間外になってしまっているので、短縮が必要である。①事前の準備をした上で、各議題の時間を決める。②話し合う点を明確にする。③早めにヒアリング・確認・提案して、時間短縮を図る。 期日に余裕を持ってミライムで知らせる。出勤したら必ずミライムのメールや掲示板を確認する。職員会議のデータは、必要に応じて印刷したり、タブレットにデータを移して、いつでも見られるようにする。 授業時数を意識し、余裕がある時間割を提案する。						
評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	B	B
			学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議等の結果を基に、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	C	
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
	②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
	③	来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート	B	
(成果と課題) ○ ホームページ更新が数多くできた。 ● 学校運営協議会で話し合った内容等が、保護者や地域の方、教職員にしっかりと周知できるよう工夫していきたい。						
(改善策等) ホームページを見ることで、授業研究になるように工夫し、教職員にとっても有益なホームページとしていきたい。 役割分担されているホームページの更新は、必ず自学級で行うようにしたい。 来校された方や電話してきた方の話をしっかりと聞き、地域の中の学校としての立ち位置を築いていきたい。						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満